

第3期宮前区区民会議 第4回企画部会

～みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう～

日時：平成23年3月8日(火)18:00～20:00

場所：宮前区役所 第3会議室

次 第

- 1 区民会議フォーラム
- 2 専門部会の審議状況
 - ・活力づくり部会
 - ・地参知笑部会^{なまんなしより}
- 3 その他

【配布資料】

- | | |
|-----|-------------------------|
| 資料1 | 区民会議フォーラム 進行 (案) |
| 資料2 | 区民会議フォーラム プログラム (案) |
| 資料3 | 区民会議フォーラム 検討状況報告資料 (案) |
| 資料4 | 区民会議フォーラム 参考事例紹介資料 (予定) |

平成 22 年度 宮前区区民会議フォーラム 進行について

1 日時

平成 23 年 3 月 12 日(土) 13:30~16:00

2 場所

宮前区役所大会議室

3 目的

- (1) より多くの区民に区民会議の意義、活動内容を知ってもらう。
- (2) 参加した区民とともに、「宮前区らしさ・コミュニティづくり」について考える。
- (3) 提言後、取組を進める段階になったときの担い手・協力者を増やす。

⇒区民とともに拡大区民会議を開こう！というイメージ

4 内容

- (1) 区民会議からの検討状況報告 20 分
- (2) 事例紹介 40 分
- (3) グループワーク・部会のテーマに会場を分かれての意見交換会 40 分
- (4) グループワーク発表とフォーラム総括 20 分

5 グループワークについて

- ・活力づくり部会、地参知笑部会の両部会それぞれのテーマ内容に沿って、参加者と共に検討を深めるグループワークを開催する。
- ・参加者はその場で参加したいと思った方のグループに参加する。

6 グループワーク進行案（全体 1 時間）

- ・部会テーマに関連した投げかけを行い、ディスカッション。（40 分）
 - 活力づくり** 坂を活用してやりたいこと
坂道でどんなことしたら楽しいだろう？
 - 地参知笑** 宮前区の産物でどんなことができる？
宮前区の面白ガイドをつくるなら、どんなコンテンツがあるだろう？
- ・ディスカッションの振り返り、まとめ（20 分）
各グループ、ラベルで振り返りを行った上で、まとめの発表を行う。

7 事例紹介

- ・今後の議論の参考とするため、第 3 期テーマに関連した取組をゲストスピーカーに招き事例を紹介してもらう。
- 活力づくり** ZAMA坂道マラソン 【座間市・座間青年会議所】

8 スケジュール

時間	内容	役割分担
12:30	集合・設営 リハーサル	全員
13:00	開場・受付	受付係
13:30	開会・あいさつ・流れの説明	山下委員長
13:35	区民会議からの検討状況報告 プロジェクター等で簡潔に 20 分	報告：佐藤部会長 持田部会長
13:55~ 14:35	事例紹介と意見交換 プロジェクター等で 40 分程度	
休憩①10分 各産品でティータイム？		セッティング・応接班
14:45~ 15:25	グループワーク 4テーブル	進行：部会長＋副委員長 書記係
休憩②10分 各産品でティータイム？		セッティング・応接班
15:35	報告 20 分 (各テーブル発表 3 分・意見交換 2 分)	発表者：
15:55	あいさつ・閉会	山下委員長
16:30?	撤収・解散	全員

9 役割分担：区民会議委員全員で運営しよう！

	活力づくり	地参知笑
会場設営・撤収	全員でやりましょう！	
受付係		
総合司会	恒川副委員長	
ティータイム対応班	浦野委員	河井委員
Aグループ	佐藤部会長	持田部会長
	手塚委員	
Bグループ	藤田委員	高橋委員（予定）
	直本委員	

平成22年度 宮前区区民会議フォーラム 進行について

●集合（12:30）

- ・区役所大会議室に集合してください
- ・発表する委員については、簡単なリハーサルを行います。
- ・机・椅子のセッティングは全員でやりましょう。

●受付（13:00）

- ・ 委員と 委員に受付をお願いします。
- ・資料を渡し、名前と地域を名簿に書いてもらってください。
- ・ポストイットとペンを渡して、名前と地域を書いて胸に貼ってもらってください。

●検討状況報告と事例紹介（13:30～14:35）

（1）配置について

- ・正副委員長及び部会長が前に座ります。
- ・司会者は司会台そばの一般席に座ります。
- ・その他の委員は、一般参加者と同じ座席に座ります（できるだけ前の方に）。

（2）留意点

- ・その他の委員は、委員からの発言・発表に対して補足したり、会場からの質問等に回答するなどの対応をお願いいたします。
- ・事例発表者に対しては積極的に質問してください。

●グループワーク（14:35～15:25）

（1）配置について

- ・分科会では各部会2つずつ、合計4つのテーブル（長机を3つ並べた形）を設け1テーブル10人程度が座ります。
- ・発表者・書記はあらかじめ決めた各テーブルに座ります。
- ・他の委員は、適宜分かれて所属部会のテーブルに座ります。

（2）（3）進め方（両部会共通・全て司会の指示により進めます。）

- ・最初にグループ内で自己紹介を行います。
- ・グループごとに手順の説明を行います。
- ・司会進行の質問に対し、グループで意見をポストイットに貼り意見交換します。
- ・グループ内で意見に不足がないか協議したりグループ分けしたりします。

【質問内容】

活力づくり部会	地参知実部会
・坂を活用してやってみたいこと ・坂道でどんなことでしたら楽しい？ ・坂道の可能性	・宮前区の産物でどんなことができる？ ・「るるぶ宮前区？」をつくるなら、どんなコンテンツがあるだろう？
※他のテーマに決めてもOKです。	※他のテーマに決めてもOKです。

●グループワーク発表（15:35～15:50）

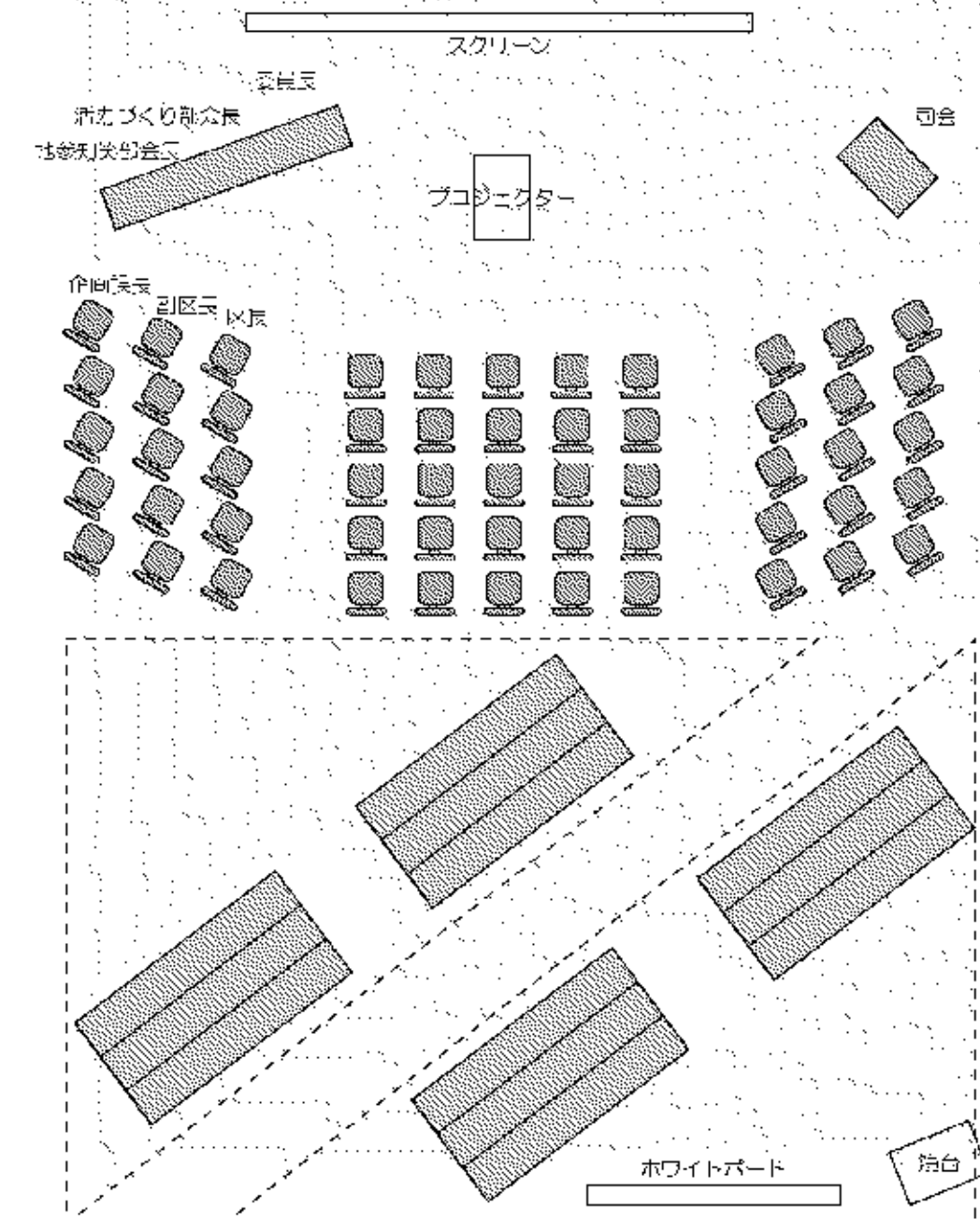
（1）配置について

- ・グループワークのままの配置とします。ただし司会の場所を設けます。

（2）進め方

- ・活力づくり部会⇒地参知実部会の順に進めます。
- ・質疑応答を行います。
- ・部会長が各分科会の発表の感想を述べます。
- ・両分科会の発表が終わったら、司会者が引き取って副委員長長の立場として全体をまとめます。

座席配置図



第3期 宮前区区民会議フォーラム

平成23年3月12日



第3期宮前区区民会議

テーマの絞り込みと選定

課題の把握 ⇒ フィルタ×2 ⇒ 審議テーマ

区役所が既に把握している課題

第3期の区民会議委員意見

単なる要望・住民が課題解決のプロセスに「参加」も「協働」もできないものを除く

他の主体で既に実践されているものを除く
第1期・第2期で審議提案されている課題

宮前区…都市型コミュニティの問題

- 夢心直結、典型的な近郊住宅地
- まちのコアとなる商業集積地がない
⇒ 「川崎郊民」になりやすい地域
- 瀬戸線の地域コミュニティ
・ 固定化・高齢化する担い手
・ 自分以外の「誰かがやる」という感覚

コミュニティづくりに 宮前区らしさを活かす

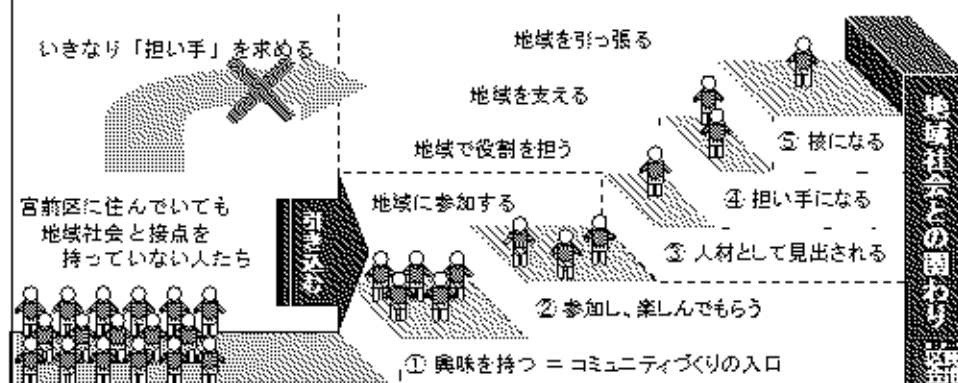
～宮前区を「住む」から「暮らす」場所に～

「東急沿線で、宮前区という場所に
たまたま住んでる」という住民意識を
「私たちは宮前区で暮らしてる」と変え
ゆるやかでも良いから
地域社会に参加する人を
増やしていく方法を検討する



地域社会への参加から始めよう

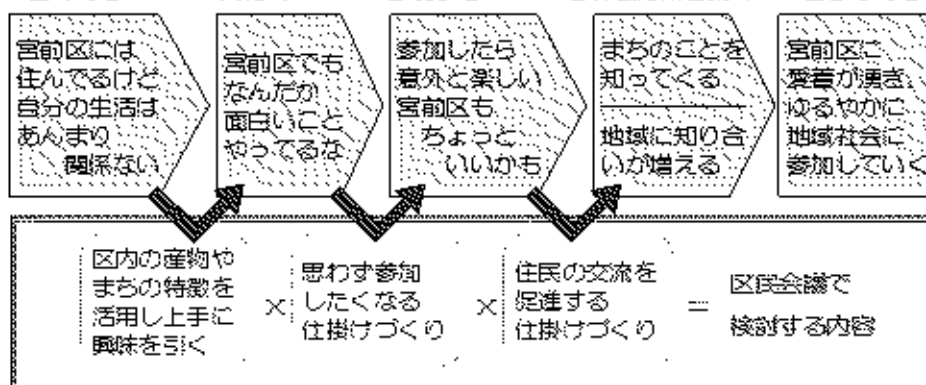
- ◆地域社会をより良くするには、多くの住民が担い手として関わる必要がある
- ◆地域社会と関わりを持たずに、ただ住んでいるだけの住民が大多数を占める現状いきなり「担い手」のレベルを求めても、その人たちは逃げてしまう
- ◆まずは地域へ興味を持ってもらうこと、参加し楽しんでもらうことから始め、地域社会としての裾野を広げることが重要では？



「住む」から「暮らす」に

住民意識を「住む」から「暮らす」に変化させていくために…

住んでる ⇒ 気付く ⇒ 参加する ⇒ 地域と関係築く ⇒ 暮らしてる



活力づくり部会

共通テーマ：宮前区らしさを活かしたコミュニティづくり

部会名	活力づくり	地域情報(ちさんちしょう)
テーマ	地域特性・まちの特徴を活用する	瀬田村に限らず幅広い圏域で地域の産物を活用する 【地産地消】
概要	「坂道」を、まちの魅力づくり・健康づくりなど活力づくりにつなげる	区内の「産物」を通じて地域の魅力を高め、地域社会への貢献につなげ、笑顔あふれるまちにしていける
調査審議の状況	●坂の冊子・マップづくり ●1年に1回行うような坂イベント ●誰でも気軽にできる坂を活用した日常的取組 などについて検討	地域社会へ住民が足を一歩踏み出すきっかけとして「モノ・場所・活動・人」などを題材に、宮前区での生活の「楽しみ方を探る方法」について検討

1. 活力づくり部会の検討内容

第3回：平成22年11月24日(水)

- ・坂道を活用した取り組みのアイデア出し
- ・坂道以外の視点の抽出
- ・他地域における坂に関連する取り組みの紹介

第4回：平成23年1月21日(金)

- ・坂道以外の視点の抽出
- ・坂道を活用した取り組みのアイデア出し
- ・今後の検討の進め方

第5回：平成23年3月2日(水)

- ・目黒区「坂道ウォーキングのススメ」の評価とマップ作成のアイデアの共有

2. 坂道を活用した取組

■坂道ウォーキングのすすめ（目黒区）

- 坂道をテーマにし、7テーマに沿ったコースを紹介
- 坂道ウォーキングのアドバイス
準備体操・整理体操についても紹介
- オリンピックで活躍したマラソン選手（東海大宇佐美名誉教授）のコメントを掲載
- 1冊200円で販売中だが、メディアにも取り上げられ、行政の刊行物としては異例の売れ行き



2. 坂道を活用した取組

■ZAMA坂道マラソン（座間市）

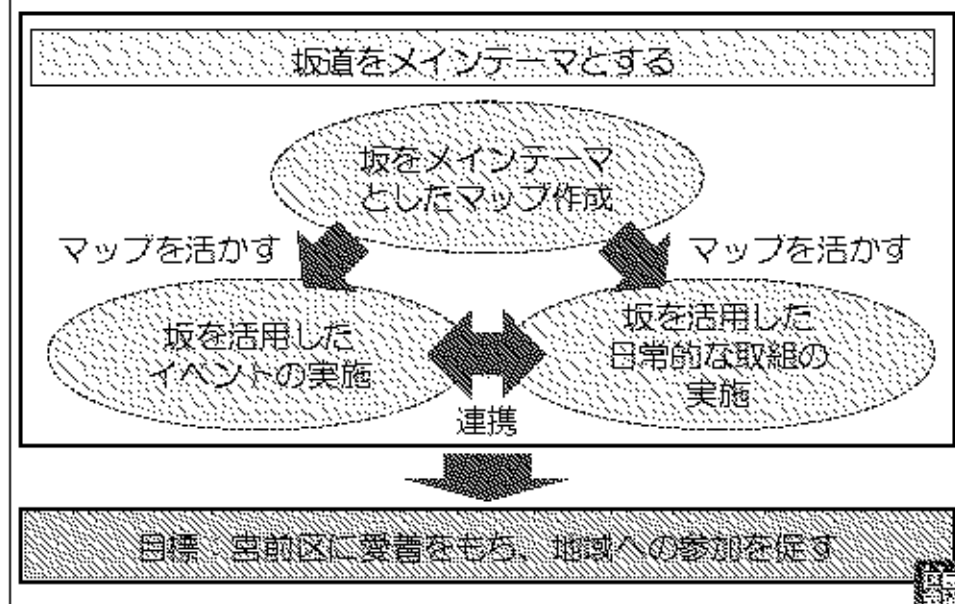
- 坂道を活かしたマラソン
- 走る距離によって3つのコースをつくり、幅広い世代を対象にしている

■ようよう坂町ウォーキング イベント（広島県坂町）

- 行政・大学・商工会が参加し
毎回主催者を変えて、内容のマンネリ化を防止するとともに
担い手の負担を分散している



3. 検討の軸と今後の方向性



4. 主な意見 ～「坂道」マップ～

■マップで取り上げる地域の資源

- ・坂道だけでなく、坂道周辺にある資源も取り上げる
(神社、地蔵、公園、河川、団地、階段など)
- ・景色の良い場所を回れるようにする
(坂の上から見る富士山スポットなど)

■マップで紹介するコース

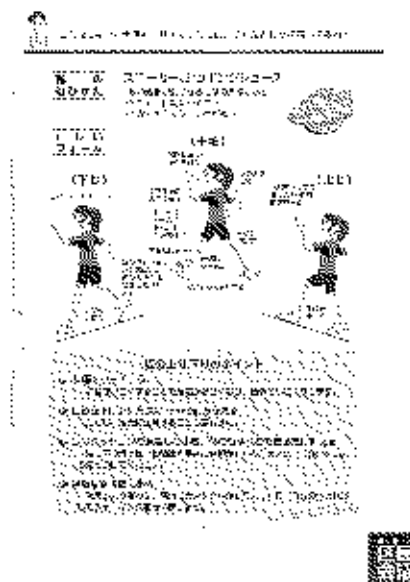
- ・四季を感じられるコースを設定する
- ・ナイトコースを設定する



4. 主な意見 ～「坂道」マップ～

■健康づくりに関する情報の掲載

- ・坂道の歩き方について
掲載する
(膝の曲げ具合や呼吸法など
右図のようにする)
- ・坂道を歩いたときなどの
消費カロリーを表示する



4. 主な意見 ～「坂道」マップ～

■マップのPR方法

- ・著名人の協力を得てPRする
(川崎フロンターレの選手・ふろん太くんなど)
- ・坂道に関するCMをつくり、
マップの付録としてDVDをつける

■マップ作成にあたって参考とする資料

- ・区内でこれまで発行されてきたマップや
目黒区発行の「坂道ウォーキングのすすめ」を
参考にする

4. 主な意見 ～坂道を活用したイベント～

■イベント内容

- ・ウォーキングラリーやスタンプラリー
- ・坂道をつないだコースをつくりマラソン
- ・ツール・ド・ミヤマエ
電動・ママチャリ・補助輪付きなど部門別で実施できる
⇒定例開催は運営が大変。いろんな団体が交代で開催
すればマンネリ防止と負担分散できる。
⇒既存のイベントと連携して行う
⇒区の自転車保有率は低く、関心が持たれないのでは
⇒交通規制など少し大掛かりになるのではないか
- ・坂道の歩き方や健康診断も併せて実施できるとよい

■イベントの参加賞

- ・農商工と連携して、宮前区の産物を使ったらどうか



4. 主な意見 ～坂道を活用した日常的取組～

- ・坂道ラリー
(全ての坂道写真をとったら、景品プレゼントなど)
- ・坂道写真クイズ
(同じ写真を取れたら景品プレゼントする)
- ・坂道ゲーム
(いくつかの坂道を巡り、隠されている
言葉をつなぐと、ひとつの言葉になる)
- ・名前の付いていない坂道に名前をつけるな
ど、親しみをもってもらう機会をつくる。
- ・iPhoneアプリ(右写真)などを使い、若い
人が参加するきっかけをつくるとともに、
話題性の高いものにする



地参知笑部会（ちさんちしょう）

共通テーマ：宮前区らしさを活かしたコミュニティづくり

部会名	地参知笑(ちさんちしょう)	ちかづくり
テーマ	農産物に限らず幅広い意味で地域の産物を活かす【地産地消】	地域特性・まちの特色を活用する
概要	区内の「産物」を通して地域の魅力を知り、地域社会への参加につなげ、笑顔あふれるまちに	「販路」を、まちの魅力づくり、産業づくりなど活かすにつなげる
調査審議の状況	地域社会へ住民が足を一歩踏み出すサポートとして、 ●「モノ・場所・活動・人」などを題材に、宮前区での生活の『楽しみ方を提案する方法』について検討	●坂の網子・マップづくり ●1年ご1回行うような坂イベント ●誰でも気軽にできる坂を活用した日常的取組などについて検討

1. 地参知笑部会の検討内容

第3回：平成22年12月2日（木）

- ・地産地消を活用したコミュニティづくりのアイデア出し
- ・部会の名称⇒地参知笑(ちさんちしょう)



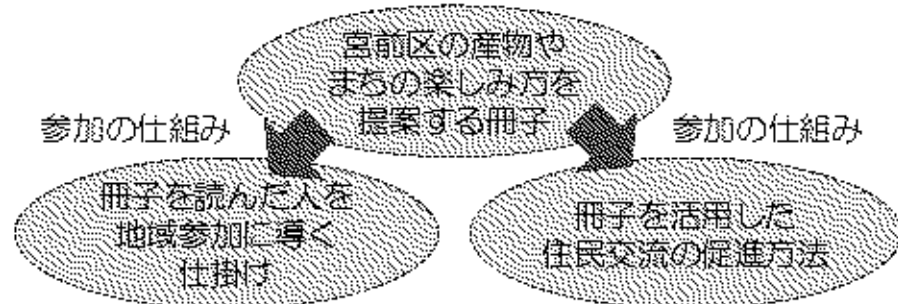
第4回：平成23年1月28日（金）

- ・コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり
- ・区民会議フォーラムの開催について

2. 今後の方向性

題 材：宮前区の産物（モノ・場所・活動・人）

仕掛け：冊子による情報発信



目標：宮前区に愛着をもち、地域への参加を促す



3. 宮前区の産物（モノ・場所・祭り・人）

■冊子で紹介する宮前の名物のイメージ

- ・これから目次を検討
- ・産物や場所、祭り、人などを紹介する予定



小泉農園のイチゴ（小泉農園HPより）



等寛院のつつし



3. 宮前区の産物（モノ・場所・祭り・人）

■冊子で紹介する宮前の名物のイメージ



馬廻神社の例大祭

フロントウン
さぎぬま
なつまつり



東高根森林公園の
収穫感謝祭



4. 宮前区の産物・まちの楽しみ方を発信

■見たくなるような工夫

- ・興味深いものを抜粋する
- ・情報を整理・統合する

⇒イメージするなら

『宮前区版るるぶ』か？

■ターゲットまで届ける仕組みは？

- ・例えば、宮前区への転入者には全て手渡す
（年間約6,000人程度）
- ・㈱ゼンリン発行のmi-ru-toを
参考に全世帯ポスティングも



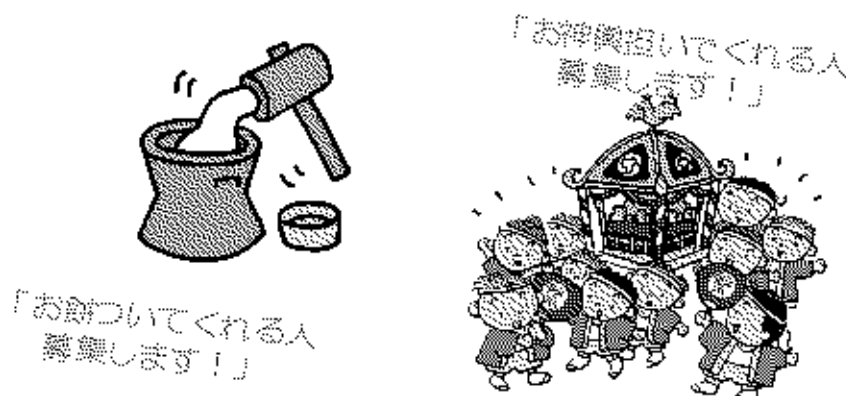
るるぶ川崎市
2010年12月10日発行
（JTBパブリッシング
HPより）



5. 冊子を読んだ人が地域に関わる仕組み

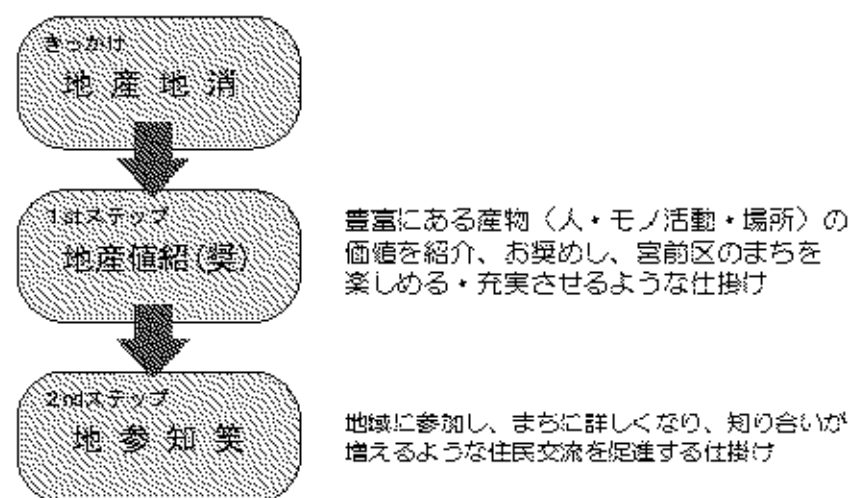
■地域参加につながる情報を掲載

- ・「神輿の担ぎ手を募集しています」など、冊子を読んだ人が地域に参加するきっかけになるような情報



6. 部会進行のイメージ

■「地産地消」から「地参知笑」へ



7. その他の意見

■活力づくり部会との連携

- ・活力づくり部会でマラソン等をもし実施するのであれば、連携して、宮前区の名物をPRもできれば

